

令和6年度第5回岩手県大規模事業評価専門委員会

(開催日時) 令和7年1月8日(水) 14:30～15:10

(開催場所) エスポワールいわて 3階 特別ホール

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

大規模施設整備事業の事前評価について<諮問審議>

- ・岩手県福祉・消費生活関連相談拠点施設(仮称)整備事業(盛岡市)
- ・岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業(宮古市)

4 閉 会

出席委員

狩野徹専門委員長、山本英和副専門委員長、竹内貴弘委員、濱上邦彦委員

松山梨香子委員、八重樫健太郎委員

欠席委員

島田悦作委員、松木佐和子委員

1 開 会

○菊池政策企画部政策企画課評価課長 それでは、ただいまから令和6年度第5回岩手県大規模事業評価専門委員会を開会いたします。

私は、事務局を担当しております政策企画課の菊池でございます。よろしくお願いいたします。

年が明けまして、まだ10日もたっていないところでございますが、皆様にはお集まりいただきましてありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

本日の専門委員会でございますが、島田委員、松木委員、お二人御欠席となっておりますが、委員総数8名中6名に御出席いただいております。半数に達してございます。政策等の評価に関する条例第13条第2項の規定によりまして、会議が成立することを御報告いたします。

2 挨 拶

○菊池政策企画部政策企画課評価課長 開会に当たりまして、狩野専門委員長から御挨拶をお願いいたします。

○狩野徹専門委員長 狩野です。今年もよろしくお願いいたします。

この大規模事業評価専門委員会、初回のときは、案件が多くて時間もなかなかうまく回せなかったのですが、ようやく今回5回目で、おそらく今年度最後として、まとめられると思います。おかげさまで何とかここまで来ることができました。あと2件の審議ですけれども、よろしくお願いいたします。

○菊池政策企画部政策企画課評価課長 ありがとうございます。

本日の審議内容でございますが、次第にございますとおり、事前評価の継続審議となっております。

議事の進行につきましては、条例第 12 条第 2 項の規定によりまして、狩野専門委員長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

3 議 事

大規模施設整備事業の事前評価について＜諮問審議＞

・岩手県福祉・消費生活関連相談拠点施設（仮称）整備事業（盛岡市）

○狩野徹専門委員長 それでは、議事に入っていきたいと思います。大規模施設整備事業の事前評価の継続審議になります。事務局で説明をお願いいたします。

〔資料No. 1 ～No. 3 説明〕

○狩野徹専門委員長 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたとおり、この 2 つの事業はいずれも前回の審議で大きな問題はなかったと認識しております。

まず、1 つ目の岩手県福祉・消費生活関連相談拠点施設（仮称）整備事業について確認しておきたいことがあれば、御質問、御意見をお願いいたします。

はい、お願いします。

○山本英和副専門委員長 今回、参考資料として載せていただいた資料No. 3 ですが、資料No. 1 の岩手県福祉・消費生活関連相談拠点施設の質問、5 番のところ、いわゆる単価比較はされていると思うのですが、ここで前回の回答として、令和 3 年に完成した宮古児童相談所を参考に、物価上昇も勘案して検討したところということが書かれているのですが、新たに作られた資料のところだと、ちょっと物価上昇が令和 3 年から令和 7 年、8 年にかけてどの程度見込んでいるのかというのが書かれていないので、想定で例えば何十%ぐらいは材料費とか建築費が上がるだろうという想定があって、それと令和 3 年の宮古児童相談所と比較して、妥当な数字であるという評価をした、そのような表現がいいと思うのですが、ここについては何かコメントがあったら教えていただけますでしょうか。

○狩野徹専門委員長 お願いします。いかがでしょうか。

○千葉保健福祉部保健福祉企画室管理課長 委員御指摘のとおり、事業費の妥当性について詳細に分析を表記する必要があるのではないかという点に関しましては、そのとおりであると認識しております。

しかしながら、現在、基本設計の詳細な部分を検討している状況であり、人件費や材料費等の物価上昇分の見通しに係る詳細な分析に至っていないのが正直なところです。この場で宮古児童相談所の平米単価と比較し、その何%が物価上昇分であるといった増額部分

を詳細に説明できる資料を準備しておりませんが、昨今の最低賃金等の上昇、あるいは物価の上昇等を考えますと、それほど盛った数字ではなく、適切な範囲として認められる建設費であると当部では判断したところであります。

○狩野徹専門委員長 いかがでしょうか。

○山本英和副専門委員長 ありがとうございます。むしろ私は、この委員会を長くやっているのに、10年、20年オーダーの大規模事業とかを拝見させていただいていますと、結構当初の予算化はかなり費用がかかるというような事例を幾つか見ていまして、例えば規則が変わったから費用が上がるというのは、これは仕方ない思うのです。だけれども、この10年ぐらいというのは、やっぱり大震災の後の人件費が上がるというところや、材料費が上がるというのは散々見てきていまして、ただそれとは別にここ2年ぐらいいろんな物価が急激に上がっています。ですので、今盛った数字とは思っていないというふうにおっしゃったのですけれども、私は逆にある程度物価上昇とか、人件費は想定しておかないと、また例えばこの事後評価のときにかかなり金額が上がってしまうということが起こるのではないのかというのがちょっと心配なので、その分も含めた数字だったら、むしろ逆に納得がいくのですけれども、そういうところはあまり、もちろん答えが出ないとは思いますが、けれども、あんまり検討すべきではないことなのか、それともやっぱりそこまで考えた上でやっておかないと、後になってからこんなはずではなかったとなるのではないかと思います。ですので、そこは県としてはどのように検討されているか、そこを教えてください。

○狩野徹専門委員長 お願いします。

○大場保健福祉部保健福祉企画室特命課長 今回提出した資料には記載しておりませんが、当該施設の平米単価は宮古児相の約1.5倍となっております。前回の委員会でも御説明しましたが、まず、県有施設の脱炭素化の取組として、建物性能のZEB化への対応があり、県内施設で竣工した実績はありませんが、県警本部が紫波警察署のZEB化に向けた設計等を行った際、15%程度の掛り増しが発生したというデータがございました。

また、もう一つ参考としましたのは、国土交通省の官庁営繕部が公表します新営予算単価であります。この単価は、国が次年度予算の概算要求時に使用する施設の新築時の工事単価を示したものであり、この伸び率が、昨年度で11.4%、今年度は6.6%となっております。着工は、来年度を予定していますので、どのくらい伸びるかというところの想定は難しかったのですが、今回の概算事業費は、今年度の国の新営予算単価の伸び率である6.6%を更に上乘せした形で算出しております。

この6.6%が適正かどうかという判断は難しいところではありますが、今年度並みの物価高騰には耐えられる事業費であると、県では考えてございます。

○狩野徹専門委員長 お願いします。

○山本英和副専門委員長 ありがとうございます。十分現状でできる予想で、ちゃんと物

価上昇の分が想定されているということは理解できましたので。どうも御回答ありがとうございました。

○狩野徹専門委員長 ありがとうございました。

では、お願いいたします。

○八重樫健太郎委員 すみません。今の話の流れの中で、1点ちょっと質問させていただきたいのですが、年度の伸び率というものを利用されているということなのですが、これは令和3年のところを基準として、着工までの間を単年度も伸び率を足していくようなイメージ、上乘せしていくようなイメージなのでしょうか。

今ちょっと単純に思ったのは、これは比較年度からちょっと間が空いてしまうと、毎年伸び率を単純に足していくと、結構実際よりも高い額というか、見積額が算定されてしまうのではないかなと思ったのですが、これは物価上昇局面のときだけその伸び率を高く基準として公表されるものなののでしょうか、ちょっと教えていただければ助かります。

○大場保健福祉部保健福祉企画室特命課長 今回、概算事業費の算出にあつては、先ほどお話ししましたとおり、国が公表している率などを参考にしておりますが、過去に整備した宮古児童相談所の実績に累積したものではなく、設計事務所が保有する直近の施工実績による平米単価などをベースに、伸び率を乗じて今回の概算事業費を算出したところでございます。

○狩野徹専門委員長 いかがでしょうか。よろしいですか。

○八重樫健太郎委員 ありがとうございます。

○狩野徹専門委員長 ありがとうございました。

あといかがでしょうか。特によろしいでしょうか。

山本先生、お願いします。

○山本英和副専門委員長 今、別に問題ではないのですが、いつもパブリックコメントをこうやって募集したときというのは、少なくとも1件か2件ぐらいは必ず今まで出てきたような気がするのです。今回、全くパブコメの回答がなかったというのは、これは過去にもこういうことはあったかどうかということと、もう一つは公共事業で、例えば堤防をかさ増しするとか、そういうところにはかなり意見が来るけれども、こういうような建築物で、どちらかというと更新するようなものに対してはあまり意見がないのが通例なのか、過去の経験でそういうのが分かれば教えてください。

○狩野徹専門委員長 では、事務局お願いします。

○佐藤政策企画部政策企画課主任 御指摘のとおり、河川事業とかですと、割と安全に直

結するということでパブリックコメントの意見が多いのですが、新しい施設となった場合には比較的件数は少ない、あるいは無いという状況が過去にもありました。過年度ですが、パブコメがゼロ件が続いた年度もあったりなどして、大規模の委員会の中でも周知をどのように取り組んでいくのかというところで御指摘をいただいて、地元の市町村の広報への周知など、事務局としてもお願いをして工夫をしているという状況でございました。

○菊池政策企画部政策企画課評価課長 今回は、確かにパブコメゼロだったのですが、今担当からお話ありましたとおり、例えば公共事業の方の大規模評価ですと、馬淵川でしたか、今年度再評価ということでパブコメ実施しまして、その中では意見少ないですが、1件か2件ぐらいだったと思いますけれども、出てきておりますし、あとはそちらは再評価という形で実施しておりますが、今回大規模ということで、新規案件のため、事前評価なのですが、こういった施設整備に当たりましては、例えば地域で説明会を開催したりして、様々直接的にお話聞く機会もございますので、パブコメでもより御意見をいただければいいと思うのですが、そういった場でも様々御意見を聞いて検討している状況でございます。

○山本英和副専門委員長 分かりました。ありがとうございました。

○狩野徹専門委員長 あとはございますでしょうか。

○竹内貴弘委員 すみません。文章の問題ですが、2ページ目の⑧のところは、「面積が多く縮小となる」部分を「面積が大幅に縮小される」と修正された方が分かり易いと思います。

○狩野徹専門委員長 表現ということですね。

○竹内貴弘委員 表現ですね。

○狩野徹専門委員長 大きく縮小というところが。

○竹内貴弘委員 そうですね。これまでの面積が大きかった、それを大幅に縮小したということだったように記憶しています。

○菊池政策企画部政策企画課評価課長 そうですね。ちょっと表現が分かりづらいという。

○竹内貴弘委員 それは、私の質問が分かりづらかったからだと思うのですが。

○菊池政策企画部政策企画課評価課長 承知しました。

○竹内貴弘委員 すみません。よろしくお願いします。

○狩野徹専門委員長 あとはよろしいでしょうか。

そうしますと、この審議については特に問題ないということなので、この事業につきましては審議終了ということにしてよろしいでしょうか。

「はい」の声

○狩野徹専門委員長 ありがとうございます。

それでは、本件につきましての審議はこれで終了したいと思います。

・岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業（宮古市）

○狩野徹専門委員長 では、続いてもう一つの方、岩手県立宮古商工高等学校及び岩手県立宮古水産高等学校校舎等新築事業について、こちらについて、教育委員会に来ていただいているので、確認したいこと、あるいはご意見があればお願いいたします。

山本委員、お願いします。

○山本英和副専門委員長 すみません。前回、申し訳ないのですが、半分だけ参加させていただいて、こちらの方の議論にはちょっと参加できなかったのですが、一応前回の結果だけを見て、ちょっと不思議だなと思った点だけ突っ込ませてください。

3 ページの⑤のところで、太陽光発電の売電に関する質問で、売電は行わないで校内で使用する電力の一部として使用すると書いてあるのですが、これ一般的にせつかく県の設備とか、これから太陽光発電とかで発電していくと思うのですが、そういうものはこれから先も売電とかは行わないのが普通なのか、この事例だけがこういうふうになっているのか、どんなふうに取り組んでいくか、ぜひ教えていただければ。

○狩野徹専門委員長 これについては、事務局、あるいは担当からお願いします。

○佐々木教育委員会事務局教育企画室学校施設課長 御案内とおり、学校の電気の使用量というのは、とてつもなく大きい電力になりますから、設置を予定している太陽光パネルの電気では数%にしかならないということなので、もう既にほかの学校で太陽光パネルを設置している学校の使用状況を見ると、100 枚程度のパネルを設置したとしても数%にしかならないということで、なかなか売電には至らないというのが現状でございます。

○山本英和副専門委員長 分かりました。ありがとうございます。

○狩野徹専門委員長 ありがとうございました。

あとはいかがでしょうか。お願いします。

○竹内貴弘委員 審議結果とかに関係ないので、先ほど⑤の参考資料を出され

たように、今回の件についてもB／Cによらない評価で、その代わりに例えば建設予定地などB／C以外の効果の検討・妥当性が示されており問題はないと思いますが、類似施設との比較とか、また、先ほどございました物価が上がっている現状の記述があっても良いのではないかと思います。

○狩野徹専門委員長 では、事務局、お願いします。

○佐々木教育委員会事務局教育企画室学校施設課長 直近で言いますと、平成 30 年に同じ4階建ての久慈高校を建てているのですが、そこからちょっとかなり年数が経っておりますので、なかなか比較となると難しい状況でございます。

先ほど保健福祉部の方から御回答がありましたけれども、設計事務所でやっぱりその設計実績がございますので、そういったものの単価を活用し、なお今後の物価上昇等も考慮して、ある程度の危険分を見ながら予算を計上しているということになりまして、すみません、回答になっていないかもしれませんが。

○竹内貴弘委員 久慈高校の例で比較されましたけれども、久慈高校のときの物価の状況というのは分からないわけですね。だから、今高いというようなことも少し書いておかないと、また今後比較するときに、比較相手が当時どのぐらいの物価だったのか、今は戦争とかの影響で特に資材高くなっているのです、数量的に、定量的に書けないにしても、何か資料としてあった方がいいなという私の意見なのですけれども。

○狩野徹専門委員長 お願いします。

○佐々木教育委員会事務局教育企画室学校施設課長 単純に久慈高校のときと比較しますと、やっぱり2割、20%ちょっとぐらい上昇しているのです。ただ、設計事務所で持っている実績の方がより実態に近い金額ということになりますので、すみません、ちょっと久慈高校との比較というのは載せないでしまいましたが、今後大規模事業があった際は、そういった今の御意見を参考にさせていただきたいと思います。

○狩野徹専門委員長 よろしいでしょうか。あといかがでしょうか。

こちらの方も、特になければこれで審議の方を終了するというところでよろしいでしょうか。

「はい」の声

○狩野徹専門委員長 ありがとうございました。

それでは、本件についても審議はこれで終了したいと思います。ありがとうございます。

それでは、事前評価の審議が全て終わりましたので、答申案の検討に入っていきたいと思います。事務局から説明をお願いいたします。

【参考資料に基づき説明】

○狩野徹専門委員長 それでは、本日審議終了した２件の案件について、答申案を決めていきたいと思います。

まず、県が行った評価結果の可否についてですが、本日の審議を踏まえ、本委員会としては、２つ、いずれの事業についても評価結果については妥当であるとしてよろしいでしょうか。

「はい」の声

○狩野徹専門委員長 ありがとうございます。

それでは、今日の意見、全ての件については、県の評価結果を妥当として、附帯意見もなしということにしたいと思います。ありがとうございます。

それでは、以上で答申の検討もこれで終了させていただきます。どうもありがとうございました。

あと他に事務局から何かあるでしょうか。

特になければ、本日はこれで議事の方を終了させていただきます。

進行を事務局の方にお返しいたします。

４ 閉 会

○菊池政策企画部政策企画課評価課長 本日も御審議ありがとうございました。

審議の中で施工の単価等についてお話しいただきました。昨今物価高騰、資材単価等の高騰で、例えば前例と比較するとすごく施工単価が上がっているように見えるのですが、こういった説明の中で丁寧に説明させていただくように工夫していきたいと考えておりますし、本日は施設整備の方の大規模の御審議ということでございましたので、施設整備ですとそれほど工期が長くございませんので、ある程度事業費というものは見込めるのかなというふうに考えているところでございます。

それでは、以上をもちまして本日の専門委員会を終了いたします。どうもありがとうございました。